

## はじめに

本報告書は、平成 15 年度に社団法人海外環境協力センターが、環境省から委託を受けた「環日本海環境協力推進事業」により、平成 15 年 11 月 24 日(月)から 26 日(水)に富山県富山市において開催された「第 12 回環日本海環境協力会議」(The 12<sup>th</sup> Northeast Asian Conference on Environmental Cooperation)の結果をまとめたものである。

本会議は、環境省、富山県、富山市、財団法人環日本海環境協力センターの主催により、中国、モンゴル、韓国、ロシア及び日本の 5 カ国並びに国連環境計画(UNEP)の参加の下に開催された。

会議は、初日のシンポジウム、「黄砂を取り巻く各国の現状」で幕を開け、名古屋大学岩坂教授の「タクラマカン砂漠上空の黄砂：黄砂の東アジアにおける環境影響を考える」と題した記念講演に続き、各国の専門家による黄砂問題への取り組みが議論された。パネルディスカッションでの意見交換により、黄砂問題が北東アジア地域における共通の環境問題であるという認識を高めることが出来た。

引き続き、本会議では、各国・機関の代表者による基調講演が行われ、参加者各々の認識を新たにすることに役立った。各分科会では、「海洋環境の保全」、「循環型社会の形成」、「地方公共団体を中心とした北東アジア地域の環境協力」がテーマとして取り上げられ、活発な討議が行われた。

国や地方公共団体などのあらゆる主体が連携して環境問題に取り組むことが、今後ますます重要になってくる。こうした連携を国際的に広げていくことが、地球規模での持続可能な社会の実現へとつながっていく。その意味においても、本会議の果たすべき役割はますます大きくなっている。

平成 16 年 3 月

社団法人海外環境協力センター  
理事長 森 仁 美